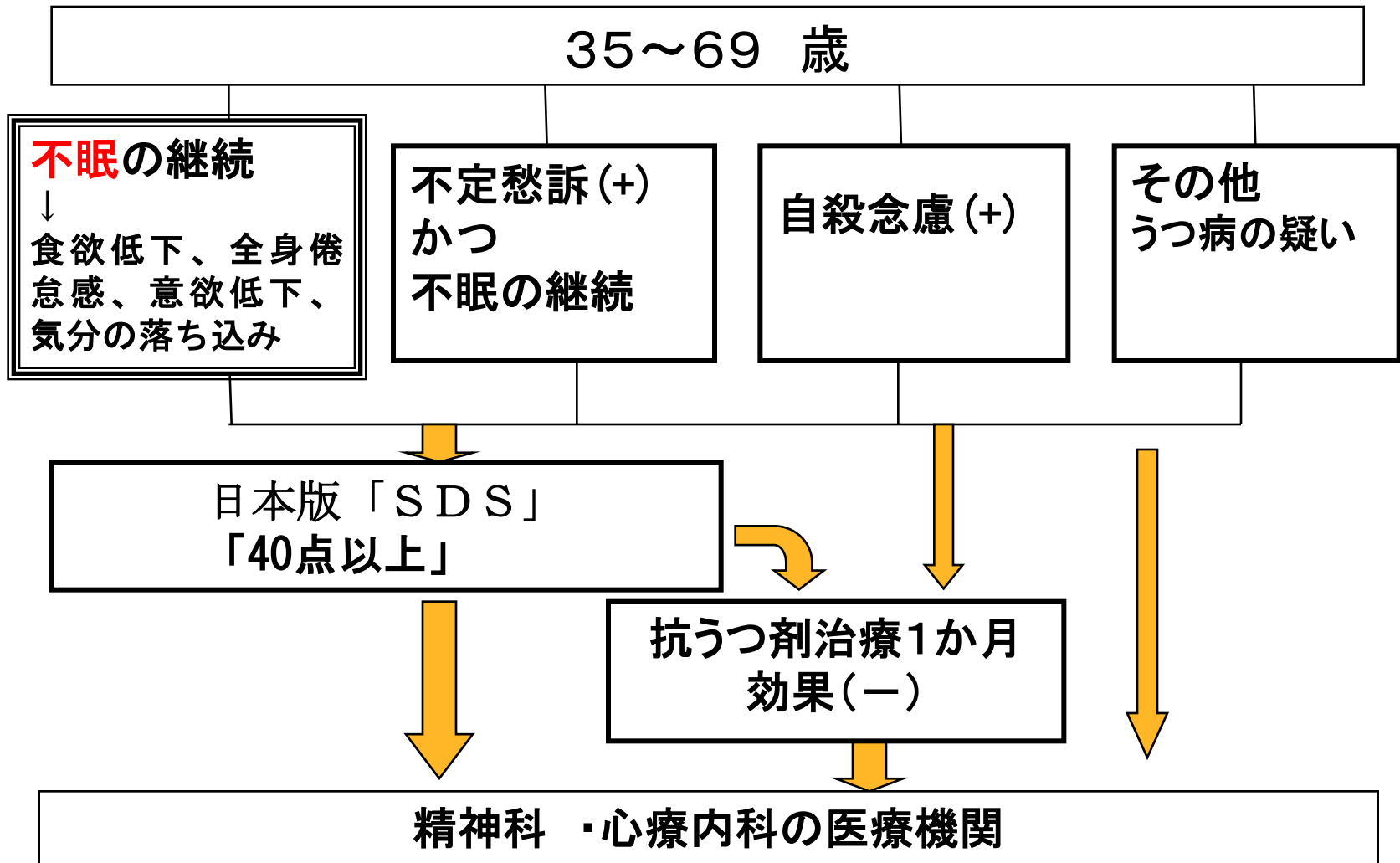


紹介システム（かかりつけ医・産業医）



紹介システムの構築

●紹介システム検討委員会 (運営委員会)

富士市医師会 5名

精神科医 5名

(公立病院 1名)

(産業医 1名)

「紹介システム」の本質

- 地域のかかりつけ医・産業医と精神科医の距離を縮め、関係作りを行うこと

⇒ 地域における「受け皿づくり」

厚生労働省の最近の動向

「かかりつけ医はゲートキーパー」

- 診療報酬保険点数化

 - 精神科医療連携加算（平成20年4月～）

- かかりつけ医うつ病対応力向上研修会を各都道府県・政令市で実施（平成20年度～）

日本医師会

かかりつけ医うつ病対応力向上研修会

■ 平成20年10月5日(日) 日本医師会大講堂

■ 講演

(1) 基礎知識編 高橋祥友(防衛医大)

(2) 診断編 神庭重信(九州大)

(3) 治療とケア編 白川 治 (近畿大)

(4) 連携編 ー富士モデル事業ー

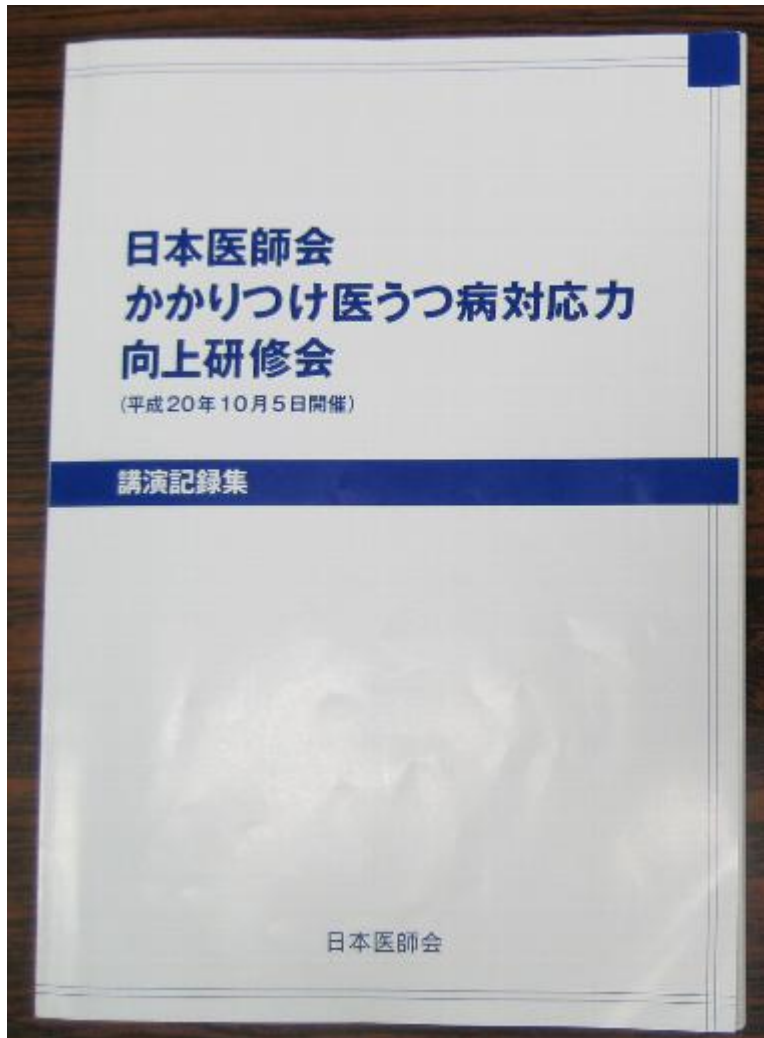
1) 概要 松本晃明(静岡県精神保健福祉センター)

2) かかりつけ医の立場 渡辺俊明(田子浦クリニック)

3) 精神科医の立場 石田多嘉子(鷹岡病院)

● 講演記録集: 日本医師会全会員(16万5千人)に配布予定

○「日本医師会かかりつけ医うつ病対応力向上研修会 講演記録集」



日本医師会 平成21年3月
(H21年 全会員へ配布済)

■ 自殺総合対策大綱:

「気づき」の促しと早期治療への「つなぎ」

「気づき」 ⇒ 睡眠キャンペーン (H18～)

「つなぎ」 ⇒ 紹介システム (H19～)

「不眠が継続する働き盛り男性」

→ かかりつけ医・産業医

→ 精神科医

地域ネットワーク

ネットワークの構築：主な協働機関

区分	種別	機関名
団体	医師	富士市医師会、精神科医会
	薬剤師	富士市薬剤師会
行政	国	富士労働基準監督署
	県	富士健康福祉センター(保健所)
	市	富士市

- ・紹介システム運営会議：医師会、地元精神科
- ・定例担当者会議：地域保健-職域保健連携

睡眠キャンペーン

- ・主に健康づくり担当
- ・主にポピュレーションアプローチ

紹介システム

- ・主に精神保健担当
- ・ハイリスクアプローチ

その他の取組

ハイリスク者(不眠が継続する働き盛り男性)を
どう‘つなぐ’か

ハイリスク者への効果的アプローチ

ハイリスク者:「不眠が継続する働き盛り男性」

⇒どう紹介システムにつなぐか？

■ 薬剤師連携:H19年10月～

- ・睡眠薬購入者は薬局へ
- ・睡眠薬購入者(特に連続使用者:ハイリスク者)へリーフレット配布・説明⇒紹介システムへの“つなぎ”
<かかりつけ薬局のゲートキーパー化>

■ 健診:市内健診機関の協力体制の構築:H20年7月～

⇒ うつ病の受診率(25%)向上

富士市薬剤師会との連携 かかりつけ薬局のゲートキーパー化

- 平成19年秋～
- 対象：不眠で市販の睡眠薬を繰り返し購入する人
- 取組：薬剤師が医療機関へ受診勧奨

